

CliqrlgnoreAppFailureパラメーターのパッチ

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

概要

このドキュメントでは、CliqrlgnoreAppFailureパラメーターのエラーを解決する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントの情報は、CloudCenter 4.8.1.1に基づくものです。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- CloudCenter Manager(CCM)コンソール
- cliqr-cloud-management.jarファイル

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

問題

CloudCenterでインスタンスを展開すると、インスタンスの展開に失敗すると、仮想マシン (VM)が自動的に終了します。CloudCenterグローバルパラメータCliqrlgnoreAppFailureは、展開が失敗してもVMが終了するのを防ぐために役立ちます。ただし、CloudCenterバージョン4.8.1.1では、CliqrlgnoreAppFailureパラメーターが有効になった後でもVMが終了します。

解決方法

この記事はCloudcenter 4.8.1.1に固有のもので、修正は4.9バージョンで提供されています。この不具合を回避するには、CloudCenterにパッチを適用する必要があります。

CCMにパッチを適用するには、次の手順に従います。

ステップ1：ルートクレデンシャルでCCMにログインします。

ステップ2: cliqr-cloud-management.jarファイルを/tmpディレクトリにダウンロードします。

ステップ3:/usr/local/tomcat/webapps/ROOT/WEB-INF/libディレクトリに移動します。

ステップ4：古いcliqr-cloud-management.jarを別のディレクトリに移動するか、cliqr-cloud-management.jar.origという名前に変更します

ステップ5:/tmpディレクトリからダウンロードしたパッチを
/usr/local/tomcat/webapps/ROOT/WEB-INF/libディレクトリにコピーします

ステップ6：ファイル名をcliqr-cloud-management.jarに変更します。

ステップ7:cliqr-cloud-management.jarの権限をcliqruserに変更します。

```
# chown cliqruser:cliqruser cliqr-cloud-managmeent.jar
```

ステップ8:/usr/local/tomcat/webapps/ROOT/WEB-INF/gateway.propertiesを編集します。

ステップ9：この行を追加する

```
#vmware.threadpool.size=30 #windows.bypass.reboot.on.rename=false
```

ステップ10:tomcatサービスを再起動します。

参考資料SUS-3560